

第13回 海岸勉強会メモ (案:今後参加者に確認)

日時:平成21年1月24日(土)

13:00~16:00

会場:石崎浜試験養浜箇所

住吉公民館

[参加者]

- ・一般の方:33名 (コンサルタント等含む)
- ・行政担当者等:14名 (宮崎県:河川課・港湾課・中部港湾事務所、国交省:宮崎港湾空港整備事務所・宮崎河川国道事務所、宮崎市:土木課)

【内容】

- ・養浜工事現場見学会 (石崎浜試験養浜箇所)
- ・「宮崎海岸浸食対策事業の新体制について」

【意見等】

現地見学会にて

- ・レストハウス前面の砂浜回復の理由について、調査等を行い把握しているか。
- ・現在動物園裏養浜箇所の波打ち際でどの程度の浜崖が出来ているのか。
- ・養浜後の効果はどういう方法で検証するのか。又、そのデータは次回の委員会で説明するのか。

住吉公民館にて

- ・技術分科会の委員の選定について疑問がある。透明性のある委員選定、議論が行われることを望む。
- ・技術分科会の委員は地元にかかわりのある人が少ない。これでは、宮崎海岸の侵食対策についての実質的な議論が行われないのではないか。
- ・委員会の委員個人が、事業に対する結果責任を負うということにはならないと思う。住民も行政に上手く意見を伝えるよう努力する必要がある。
- ・オブザーバーは、委員に対して意見や討議ができる位置づけにあるのか。
- ・なぜ技術と環境を分けて分科会を設立するのか。
- ・技術分科会では、何を議論するのか。
- ・技術分科会では、傍聴からの質問はできるのか。
- ・市民連携コーディネータの選定基準は。サポートする人員を今後配置するのか。
- ・談義所の規模や頻度、場所は決まっているのか。
- ・談義所の運営主体はどこなのか。予算的に講演者を呼ぶことは可能か。

【次回以降の予定等】

- ・第14回勉強会は、平成21年2月18日(水) 住吉公民館
- ・漁業者からの話をうかがう。談義所の運営方法についても話し合いたい。